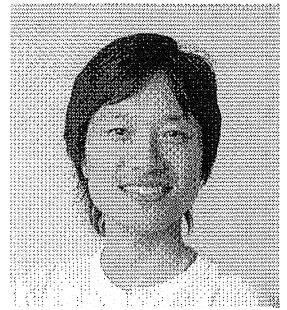


上垣 喜寛

NPO法人自伐型林業推進協会事務局長



うえがき・よしひろ 記者・映画監督・自伐型林業推進協会事務局長。08年からフリーで執筆・撮影などの活動をスタート。共著に『震災以降』など。和歌山県に先祖の山を持つ。

「自伐型」と呼ばれる林業への関心が高まっている。もとは持ち山から、自力で木材を切り出す方式を指してきた。昨今は中山間地に住み着いた移住者や、Uターン、さらに一代を越えて地元に戻る孫ターン者が、個人やグループで地元の山の手入れを担うようになってきている。

鳥取県智頭町に住む大谷訓大さん(35)は、田んぼ約1.5畝と、約40畝の山林を先代から引き継いでいる。農業と林業を営む農家林家だ。大阪でサラリーマンとして勤務した後、海外生活を経て、2010年に地元同様にUターンした。大谷さんが取り組む林業は、山林所有者や地域住民が山に入って自ら材を切り出す林業で「自伐型林業」と

田舎生活支える「自伐型」

呼ばれる。短期的な生産量を追い求める大規模林業(伐採業と違い、間伐生産しながら蓄積量(在庫)を増やす長期視点の持続的森林経営だ。さらに低投資・低コストでできるため、現状の材価でも手元に収入が残る手法として注目されている。

山に入る年間スケジュールは自分で決められるので、春から農業に励み、稲の収穫が終わる頃から林業にシフトするような兼業スタイルを築けるのも魅力の一つだ。大谷さん自身も林業をしながら、米

の開設、林業経営を10日間にわたって学ぶ。大谷さんの林業パートナーの小谷洋太さん(32)も研修卒業生だ。小谷さんは林業の傍ら、森林での副業を組み合わせた生業をつくる。生花もやり、シーズンになるとヒサカキ(仏事用)を花屋に卸す。「将来的には生け花用の花木を植えたい」と、林業を主業に据えた将来像を描く。

自伐型林業は、人任せにせず自ら責任を持つ自立・自営型の林業だ。最も重視するのは山に整備する道造りで、幅2.5m以下の小径(こみち)を山林に整備し、クモの巣のように張り巡らせ、いつでも車両で入れやすい山をつくる。大雨にも耐える「壊れない道づくり」をモットーにした丁寧な道造りは、余計な山崩れを予防する。

また、任された山は継続的に収入を得られるような山に仕上げられるので、一斉に木を伐採して50年以上は収入の見込みがない「皆伐」などの過度な

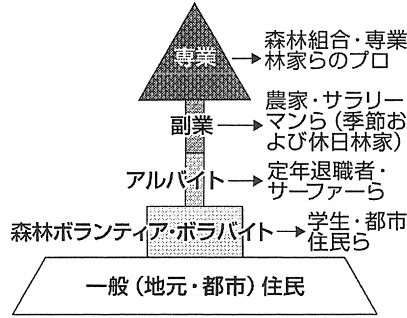
を直売し、減反田ではホップを育てて地元のクラフトビール生産者に出荷している。ホップの生産は「半分遊び感覚」と笑う。智頭町は、15年度から自伐型林業を政策に取り入れ、担い手の育成に取り組んできた。今年で3年目を迎えた林業塾は、チェーンソーの取り扱いから伐倒・造材、作業道

まな副業を組み合わせた生業をつくれるところにある。農業だけでは生活が厳しくて、一定の山を確保して自伐をすれば、「遊び」のある農的な暮らしも現実味を帯びる。山の面積に合わせた収入の見込みも立てられる。林業といえば、危険が伴うのでプロに任せるのが一般的だ。山林所有者が森林組合や事業体に整備を任せ、そこから発生した伐採や植林などの仕事を林業者個人が請け負う。林業者は毎回違う現場を

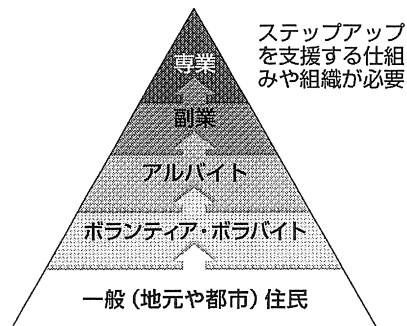
伐採は避けている。大谷さんの場合は、必要最低限の間伐率(2割以下)で良木を残すことを心掛け、山全体の価値を上げていく。持続可能な環境保全型の林業とも言われる。

自伐型林業のような、小規模でも始められる林業がどうしてこれまで注目されてこなかったのか。国は2000年代から数千円もする大型高性能林業機械を導入した「効率化」を目指してきた経緯がある。

現状のいびつな林業就業構造ピラミッド



本来の(あるべき)就業構造ピラミッド



自伐型林業の魅力は、林業を主軸に置きながら、さまざまな副業の組み合わせが必要。ステップアップを支援する仕組みや組織が必要。また、任された山は継続的に収入を得られるような山に仕上げられるので、一斉に木を伐採して50年以上は収入の見込みがない「皆伐」などの過度な

自伐型林業のような、小規模でも始められる林業がどうしてこれまで注目されてこなかったのか。国は2000年代から数千円もする大型高性能林業機械を導入した「効率化」を目指してきた経緯がある。

「山林所有者は意欲がない」と決めつけ、委託を勧めたのが唯一の道なのか。全国の農業者のうち約90万人は山林を所有している(10年世界農林業センサス)。一人でも多くの所有者が山の価値に改めて気付く、移住者や地域住民と共に守る道を見いだすようになれば、豊かな農的な暮らしが次世代にも引き継げる。小さくても始められる自伐型林業は、農山村にとってのもう一つの道を示しているのではないだろうか。

- ポイント
○ 低投資低コスト参入可能
○ 持続的森林経営で定住
○ 農林兼業の自立・自営へ
○ 農山村に「もう一つの道」